

令和6年度 学校教育目標

支え合い 高め合い

たくましく 未来を切り開く 生徒の育成

目指す生徒像・教師像

支え合い (友愛)	高め合い (向上)	たくましく (健康)	未来を切り開く (創造)
【生徒像】 豊かな心を持ち、 支え合う生徒	【生徒像】 進んで学び、 高め合う生徒	【生徒像】 心と体を鍛え、 最後までやり抜く生徒	【生徒像】 未来に向かって 自ら行動する生徒
【教師像】 一人一人を大切に、 共に歩む教師	【教師像】 互いに協働し、 指導力を磨き合う教師	【教師像】 心身共に健康で、 信頼される教師	【教師像】 主体性を導き出し、 可能性を信じる教師
豊かな心 (徳)	確かな学力 (知)	健やかな体 (体)	生きる力

重点目標 (重点的に育成を目指す生徒の資質・能力)

- 【支え合う力】の育成 (思考力・判断力・表現力等の育成)
「意識的に自らの心を耕し、互いに支え合っていくようとする資質・能力」を育成する。
- 【高め合う力】の育成 (知識・技能の習得)
「進んで学び、互いの良さを認め、高め合っていくようとする資質・能力」を育成する。
- 【やり抜く力】の育成 (学びに向かう力・人間性等の涵養)
「失敗しても、それをバネにし、最後までやり抜こうとする資質・能力」を育成する。
- 【自ら行動する力】の育成 (学びに向かう力・人間性等の涵養)
「主体的に考え、未来に向かって自ら行動しようとする資質・能力」を育成する。

協働型学校評価の到達目標		
学校・家庭・地域で、心のこもった挨拶をする生徒の育成		
協働型学校評価の重点目標		
学校・家庭・地域で、心のこもった挨拶ができる生徒を80%以上にする。		
目指す生徒の具体的な姿		
学校では	家庭では	地域では
友達、先生、来校された方へ、心をこめて元気に挨拶する生徒	家庭での一日の挨拶が習慣化されている生徒	近所や知り合いの方へ、心のこもった挨拶をする生徒
重点目標実現のための三者の改善活動		
学校では	家庭では	地域では
○教職員が範を示し、生徒に心をこめて明るく挨拶する。 ○生徒の挨拶の励行を学級や集会の場で認める。 ○松友会が中心となり、挨拶運動や励行の呼び掛けを行う。	○「おはよう」から「おやすみ」まで一日の挨拶を自然と交わし、習慣化する。 ○意識的に「ありがとう」の言葉掛けをする。	○地域行事等で、子供たちに積極的に関わり、挨拶や声掛けをする。 ○近隣の顔見知りの子供たちに挨拶や声掛けをする。 ○小学生に挨拶する。